

庄和地区公民館・庄和南公民館

◇運営の基本方針

地域住民の学習意欲を醸成するための学習機会を提供し、充実した人生を築くための生涯学習拠点となるよう環境を整える。また、庄和地区の連帯意識を高め、地域コミュニティづくりを進める。

◇重点施策

- 1 世代間交流と地域の連帯感を育む。
- 2 地域住民参画による自主的・自発的な事業活動を支援する。
- 3 各種団体、地域住民との協働による事業の展開を図る。

◇重点事業

- | | |
|------------|----------|
| 1 庄和地区市民大学 | 2 公民館まつり |
| 3 庄和地区体育祭 | 4 正風館音楽祭 |

庄和地区公民館

所在地 〒344-0116 春日部市大倉307番地1

TEL 048-746-6666

FAX 048-746-6669

E-mail seifukan@city.kasukabe.lg.jp



庄和南公民館

所在地 〒344-0124 春日部市米崎357番地

TEL 048-745-3000

FAX 048-745-3002

E-mail s-nankou@city.kasukabe.lg.jp



職員	館長(兼務)	芳池	修
	主査(兼務)	長谷川	崇
	主任(兼務)	小堀	昭(再任用)
	主任(兼務)	高島	美香(社会教育主事)
	主事(兼務)	塚目	龍也
	主事(兼務)	佐藤	拓実(危険物取扱者)
	フルタイム(兼務)	落合	珠美
	フルタイム(兼務)	山口	智恵子
	フルタイム(兼務)	前島	浩子

庄和地区 1

事業名 テーマ	庄和地区市民大学		対象	一般	定員	19・20期生 32名	
ねらい	地域住民に多種多様な内容の学習をする機会を提供し、地域に貢献できる人材育成を図るとともに、交友範囲を広げてもらい、より有意義な生活を送ってもらうことを目指す。						
協力機関 及び団体	庄和地区市民大学運営委員会 庄和地区市民大学学友会	特色 位置づけ	重点事業 地域で活動できる人 材づくり	SDGs の目標 No	4.11.17		
会場	庄和市民センター正風館 2階 会議室ほか	教材 資料等	講師持参等				
実施までの 経過	1月下旬～ 広報	PR方法	公民館だより2・4月号・広報かすかべ2月号 ふれあい大学へ出向いてPR ポスター・募集要項・チラシ ホームページ・入学説明会				
	2月15日～ 入学受付 2月15日 入学説明会 3月下旬～4月23日 広報(追加募集)・入学受付 3月14日 入学説明会		受付方法	学費を添えて正風館窓口へ申込み			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職 名 氏 名
				男 計	女 計	合計	
回数	総時間数						
5月8日(金)	13:00～15:00	開講式・オリエンテーション	説明	中止			市民大学運営員会
5月15日(金)	13:30～15:30	教育学科教養講座	講義				文教大学前学長 野島 正也
5月22日(金)	13:30～15:30	社会学科地方自治講座	講義				春日部市シティセールス広報課
5月29日(金)	13:30～15:30	社会学科郷土史講座	講義				春日部市文化財保護課
6月5日(金)	13:30～15:30	科学学科生理学講座	講義				産業技術総合研究所
6月13日(土)	13:30～15:30	芸術学科音楽鑑賞講座	鑑賞				埼玉県警察音楽隊
6月19日(金)	7:30～	宿泊体験(1日目)	体験				埼玉県立大滝げんきプラザ
6月20日(土)	～17:00	宿泊体験(2日目)	体験				
6月26日(金)	13:30～15:30	教育学科ディベート講座1	講義				文教大学 青山鉄兵
7月3日(金)	13:30～15:30	教育学科ディベート講座2	講義				文教大学 青山鉄兵
7月10日(金)	13:30～15:30	教育学科ディベート講座3	講義				文教大学 青山鉄兵
7月17日(金)	13:30～15:30	教育学科ディベート講座4	講義				文教大学 青山鉄兵
7月24日(金)	13:30～15:30	健康学科一般健康講座	講義				埼玉県立大学 久保田章二
7月31日(金)	13:30～15:30	環境学科ごみ・リサイクル講座	講義				宇都宮大学 古澤 毅
9月11日(金)	13:30～15:30	教育学科教養講座	講義				市民大学運営員会
9月18日(金)	13:30～15:30	健康講座スポーツ一般講座	体験				市民大学運営員会
9月25日(金)	13:30～15:30	教育学科教養講座	講義				市民大学運営員会
10月2日(金)	13:30～15:30	未定	講義				文教大学前学長 野島 正也
10月15日(木)	13:30～15:30	社会学科政治・司法講座	視察				最高裁判所広報課・参議院警務部
10月23日(金)	13:30～15:30	生活学科コミュニケーション講座	講義				文教大学 青山鉄兵
10月30日(金)	13:30～15:30	健康学科健康一般講座	講義				元東洋大学 上条賢一
11月6日(金)	13:30～15:30	環境学科水環境講座	講義				筑波大学 辻村 真貴
11月13日(金)	13:30～15:30	芸術学科美術鑑賞講座	鑑賞				日展事務局
11月20日(金)	13:30～15:30	生活学科ボランティア講座	講義				宇都宮大学 陣内 雄次
11月27日(金)	13:30～15:30	教育学科教養講座	講義				春日部市庄和図書館
12月4日(金)	13:30～15:30	教育学科教養講座	講義				文教大学前学長 野島 正也
12月11日(金)	13:30～15:30	芸術学科古典芸能鑑賞講座	鑑賞	日本芸術文化振興会			
12月18日(金)	13:30～15:30	生活学科ボランティア講座	講義	NPO法人ふる里を守る会			
1月8日(金)	13:30～15:30	教育学科人権講座	講義	春日部市社会教育部			
1月15日(金)	13:30～15:30	教育学科教養講座	講義	市民大学運営員会			
1月22日(金)	13:30～15:30	教育学科教養講座	講義	文教大学学園 野島正也			
0回	0時間			0	0	0	
企画運営上 の工夫	県の出前講座などを活用し、低コストによる事業運営を図る一方、大学教授を講師に迎えるなど、幅広い知識の習得を目指すカリキュラムとした。						
成果 参加者の 声など	今年度は新型コロナウイルスの影響で中止となってしまった。令和3年度の開講を目標とし、計8回運営委員会を開催した。						
課題と展望	今後も運営委員と協力して企画を考えていきたい。						

事業名 テーマ	2020庄和地区公民館まつり		対象	一般	定員	定めず	
ねらい	日頃、活動している団体・個人が、その活動の成果を広く地域の方々に鑑賞してもらい生涯学習の推進と交流を図り、活動成果の発表の機会、サークルと地域の方との交流の機会、活動に新しく参加する人を期待する機会を来場された市民の方々に理解していただくことで、公民館活動の一層の発展を期す。						
協力機関 及び団体	庄和地区公民館まつり実行委員会 庄和地区市民大学学友会 庄和地区市民大学学生会 食生活改善推進員協議会庄和地区 新ふれあい会食会		特色 位置づけ	重点事業	SDGs の目 標No	4.11.17	
会場	庄和市民センター正風館 全館		教材 資料等	まつりプログラム 参加サークルの作品			
実施ま での経過	4月1日～24日 6月10日	参加団体募集 中止の決定	PR方法	ポスター・チラシ 公民館ブログ 公民館だより(4月号)			
			受付方法	4月1日～4月24日までに庄和地区公民館(正風館)窓口に参加料2,000円を添えて申込み。			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職 名 氏 名
回数	総時間数			男	女	合計	
9月5日(土) 9月6日(日)	9:00～17:00 9:00～16:00	公民館まつり(1日目) 公民館まつり(2日目)		中止			
0回	0			0	0	0	
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会を中心とした参加団体による自主運営 ・参加団体募集では正風館、庄和南公民館、南桜井駅、庄和総合支所にポスターを掲示するほか、昨年度参加団体に積極的に声掛けをし、参加団体を募集した。 ・9月から11月へ延期することで、開催が出来ないか検討し、実行委員、参加団体と連絡・調整した。 						
成 果 参加者の 声 など	展示団体8団体、舞台団体14団体からの参加申込があった。しかし、新型コロナウイルス感染防止の観点から、多くの方の参加と交流を目的としている公民館まつりにおいて、十分な感染予防対策を講じながら目的を達成することや、今後の見通しが立たない中で、参加団体並びに協力団体の皆様と調整を進めていくことは困難なため、中止とした。						
課題と展望	来年度へ向けて、地域の方に安心安全に楽しんで頂けるような企画・運営を検討していきたい。						


庄和地区 3

事業名 テーマ	令和2年度春日部市民体育祭 庄和地区体育祭		対象	地区住民		定員	種目ごと
ねらい	地域住民の交流・親睦を深めるとともに、体力向上による健康増進を図る。						
協力機関 及び団体	春日部市・庄和地区自治会連合会 春日部市コミュニティ推進協議会 庄和地区体育祭実行委員会		特色 位置づけ	重点事業		SDGs の目 標No	3.17
会場	庄和総合公園多目的広場		教材 資料等	プログラム 各競技参加者に賞品			
実施ま での経 過	6月19日	中止決定	PR方法				
			受付方法				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職 名 氏 名
				男	女	合計	
回 数	総時間数			計	計	計	
10月11日(日) 10月18日(日)	8:30～15:10 8:30～15:10	体育祭当日 体育祭予備日	競技 競技	中止			
0回	0時間			0	0		
企画運営上 の工夫	庄和地区体育祭実行委員会は庄和地区自治会連合会・庄和地区スポーツ推進委員・幼稚園・庄和地区小中学校長会・スポーツ団体の代表を実行委員として構成し運営する。また区対抗種目抽選会・競技説明会や競技役員全体説明会などを行い、体育祭での役割分担を説明し、地域コミュニティの推進を図り、円滑な体育祭開催の準備・運営に努める。						
成 果 参加者 の声 など	新型コロナウイルス感染症に対する、市民の安心安全面を最優先に考えやむを得ず中止						
課題と展望	新型コロナウイルスの流行により、早々に中止となってしまった。 次年度の開催に向けて準備を進めていきたい。						

事業名 テーマ	第35回 正風館音楽祭		対象	公民館利用団体 一般	定員	定めず	
ねらい	日頃の活動の成果を発表し、文化・芸術の向上を目指すとともに、参加団体相互の情報交換及び交流を図り、公民館活動の一層の発展を期す。						
協力機関 及び団体	第35回正風館音楽祭実行委員会		特色 位置づけ	重点事業	SDGs の目 標No	4.11.17	
会場	庄和市民センター正風館 1階 大ホール		教材 資料等	プログラム			
実施ま での経 過	5月	募集要項作成	PR方法	・ポスター・チラシ・公民館ブログ ・公民館だより(6月号)			
	6月1日	公民館だより 参加団体募集掲載					
	6月1日～30日	参加団体募集	受付方法	6/1～6/30までに参加費2,000円を 添えて窓口へ			
	7月1日	中止決定 応募7団体に通知 参加費返金					
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職 名 氏 名
				男	女	合計	
回数	総時間数			計	計	合計	
10月25日(日)	13:00～16:00	新型コロナウイルス感染 拡大防止のため中止	発表会				参加団体から選出 された実行委員による 自主運営形式 参加団体数 13団体(189人)
0回	0時間			0	0		
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会が自主運営する。 ・参加団体から参加費(1団体2,000円)を徴収し、運営費に充てる。 ・ポスター、チラシ、公民館だより、広報かすかべで広報する。かすかべ遊学フェスティバル及び春日部市民の日に参加する。 ・実行委員会でのぼり旗を作成し周知する。 						
成 果 参加者 の声 等	実施に向けて参加団体を募集したが、7団体にとどまった。(昨年13団体参加) 応募を見合わせた団体からは、「新型コロナウイルス感染拡大状況を考慮して参加しない。」「感染拡大防止のため活動を自粛しているので音楽祭に向けての練習ができない。」などの声が寄せられた。						
課題と展望	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点と参加団体減少による運営困難が予測されるため、今年度は中止としたが、来年度も引き続き実施にむけて計画していく。						

庄和地区 5

事業名 テーマ	井戸端サロン		対象	庄和地区にお住まいのおおむね50歳以上の方		定員	定めず	
ねらい	定期的に開催し、高齢者の居場所づくり、仲間づくりを進める。							
協力機関 及び団体	井戸端サロンふれあい隊		特色 位置づけ	高齢者コミュニティカフェ事業		SDGs の目標No	3.4.17	
会場	庄和市民センター正風館 2階 多目的室 他		教材 資料等	講師持参				
実施までの経過	4月上旬打合せ 講師依頼 隔月公民館だよりに掲載		PR方法	公民館だより掲載 ポスター掲示及びチラシ配布				
			受付方法	当日または事前受付				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職 名 氏 名	
				男 計	女 計	合計		
回数	総時間数							
4月13日(月)	10:00~15:00	ミニ脳トレ塾(そらまめ体操・体力測定・脳トレ) ミニ脳トレ塾(そらまめ体操・体力測定・脳トレ) ミニ脳トレ塾(そらまめ体操・体力測定・脳トレ) 体力測定 終活講座 施設見学 クリスマス会 新年会 防犯講座 ひなまつり	懇談会	中止			介護保険課職員 介護保険課職員 介護保険課職員	
4月27日(月)	10:00~15:00		懇談会					
5月11日(月)	10:00~15:00		懇談会					
5月25日(月)	10:00~15:00		懇談会					
6月8日(月)	10:00~15:00		講習					
6月22日(月)	10:00~15:00		講習					
7月13日(月)	10:00~15:00		講習					
7月27日(月)	10:00~15:00		懇談会					
8月24日(月)	10:00~15:00		懇談会					
9月14日(月)	10:00~15:00		実技					スポーツ推進課職員
9月28日(月)	10:00~15:00		懇談会					
10月26日(月)	10:00~15:00		懇談会					
11月9日(月)	10:00~15:00		講習					
11月24日(火)	10:00~15:00		見学					
12月14日(月)	10:00~15:00		懇談会					
1月25日(月)	10:00~15:00		懇談会					
2月8日(月)	10:00~15:00		講習					春日部警察署職員
2月22日(月)	10:00~15:00		懇談会					
3月8日(月)	10:00~15:00		懇談会					
3月22日(月)	10:00~15:00		懇談会					
0回	0時間			0	0	0		
企画運営上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 井戸端サロンふれあい隊に運営の協力を仰ぐ 当日受付、出入り自由とする 高齢者が興味関心のある題材を取り上げる 							
成果参加者の声など	新型コロナウイルス感染拡大防止のため全て中止。井戸端サロンふれあい隊とその時々開催可否や令和3年度の予定などを話し合った。							
課題と展望	次年度についても新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、井戸端サロンふれあい隊と協力し企画していきたい。							

事業名 テーマ	子育てサロン「親子のひろば」		対象	0～5歳児とその保護者		定員	内容ごと	
ねらい	すべての保護者が、安心して子育てや家庭教育を行えるよう学習機会や相談の場を提供する。							
協力機関 及び団体	春日部地区更生保護女性会庄和地区		特色 位置づけ	家庭教育の充実		SDGs の目標No	4.17	
会場	庄和市民センター正風館 2階 和室、 3階 講義室		教材 資料等	講師持参 他				
実施ま での経過	随時 春日部地区更生保護女性会庄 和地区と打合せ		PR方法	庄和地区公民館だより掲載 安心安全情報メール配信 チラシ配布				
	随時 講師と打ち合わせ 隔月 公民館だよりに掲載			受付方法	電話または直接窓口で事前申込み			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
5月21日(木)	10:00～11:30	お楽しみ会	実技		中止		栗岡 一矛・西村 範子・ 庄和図書館スタッフ	
7月16日(木)	10:00～11:30	親子で楽しむベビママヨガ	鑑賞		中止		鈴木 さくら	
9月17日(木)	10:00～11:30	乳幼児救急救命講座	実技	0	9	9	春日部市消防本部職員	
11月26日(木)	10:00～11:30	ちよっぴり早いクリスマス	実技	4	23	27	栗岡 一矛・西村 範子・ 庄和図書館スタッフ	
1月21日(木)	10:00～11:30	育児と親同士のネットコミュニ ケーション応援講座	講義		中止		吉田 理子	
3月18日(木)	10:00～11:30	親子で楽しむベビママヨガ	実技		中止		鈴木 さくら	
								
2回	3時間			4	32	36		
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的参加を期待して隔月に開催し、全6回行う。 ・更生保護女性会に講座の企画運営、託児、広報の協力をお願いする。 ・県または他課との連携を図り、専門的な相談にも対応できる講師を招く。 ・地区内で活動している幼児教育に見識のある講師を招く。 ・参加型の内容とし参加者相互の交流を図る。 							
成 果 参加者の 声 など	「AEDの使用が体験できてよかったです。人工呼吸も乳児と大人では違うということも知れてよかったです。(9月17日講座)」、「様々な体験を通して、普段家庭ではなかなかできない遊びがたくさんできました(11月26日講座)」などの感想をいただいた。							
課題と展望	新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった講座の中には、定員を超えて申込があったものもあり、来年度も参加者のニーズに応えられるような内容を企画していきたい。							

庄和地区 7

事業名 テーマ	教養講座		対象	一般	定員	15人
ねらい	地域住民の声や社会情勢を鑑みて、一般成人の学習ニーズに対応したテーマを年代に合わせて実施する。					
協力機関 及び団体			特色 位置づけ	成人の学習機会の充実 民間企業と連携した事業		
会場	正風館 会議室1.2.3		教材 資料等	レジュメ	SDGs の目 標No	4
実施ま での経過	6月 1月	KDDIへ申し込み KDDIとドコモショップ各社と 打ち合わせ 公民館だより2月号掲載 各講座受付開始 ドコモショップの協力で実施 KDDIの協力で実施	PR方法	公民館だより2月号 ポスター、チラシ配架		
	2月 2月8日～ 2月25日 3月2日		受付方法	それぞれ2月8日(月)から窓口 または電話で受け付け		
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者		講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	
2月25日(木) 3月2日(火)	13:30～15:30 13:30～15:30	「スマートフォンを体験しよう」 スマホ講座 「防災対策を学ぶ」	講義 講義			中止 中止 ドコモショップ春日部 KDDIスマホ・ケータイ 安全教室事務局
0回	0時間					
企画運営上 の工夫	スマートフォンを使用して情報収集や社会参加に役立てるため、その基本的な操作方法や安心・安全に使うためのポイントを学ぶ。 民間企業連携事業として通信事業者に協力を仰ぐ。 マスクの着用や検温、部屋の換気など新型コロナウイルス対策を講じたうえで実施する。 質疑応答の時間を設けて個々の疑問に対応する。					
成果 参加者の 声など	新型コロナウイルスに伴う緊急事態宣言が延長され、講座実施日と重なってしまったため、残念ながら中止となった。					
課題と展望	申込み開始日前から多くの反響があり、「スマートフォンを体験しよう」には40名、スマホ講座「防災対策を学ぶ」には24名の申し込みがあった。本講座に対する強い関心が伺えるため、次年度も同様の講座を企画したい。					

事業名 テーマ	Showa キッズぴあ		対象	小学生または 小学生とその保護者		定員	定めず
ねらい	学習要求に対応した多彩な学習機会を提供するため、子どもの興味関心に基づく内容を取り上げ、青少年教育の充実を図る。						
協力機関 及び団体	茶友会・庄和おはなしボランティア 文教大学人間科学部学生有志 庄和チャレンジ隊・ほっこり虹の会 池坊・むさし支部菊池社中withピアニスターズ 年少リーダー		特色 位置づけ	青少年健全育成 事業		SDGs の目 標No	4.5.11.16. 17
会場	庄和市民センター正風館		教材 資料等	講師持参			
実施まで の経過	5月13日	事業計画書作成	PR方法	・ポスター・チラシ・公民館ブログ ・公民館だより(12月号) ・広報かすかべ(1月号) ・市内各公共施設にポスター等を配架			
	8月1日	公民館だより 運営ボランティア募集					
	8月25日	講師依頼	受付方法	「お花をいけてみよう！」12/9～ 定員に達するまで事前受付 その他 当日受付 参加費 無料(風作りのみ材料費100円)			
	9月16日	第1回調整会議					
	11月20日	広報かすかべ1月号掲載依頼					
	12月1日	公民館だより掲載					
	12月3日	第2回調整会議					
	12月9日	「お花をいけてみよう！」募集開始					
	12月	ポスター・チラシ配架依頼					
	1月1日	広報かすかべ掲載					
	1月21日	中止決定					
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男	女	合計	
回数	総時間数		計	計	計		
2月14日(日)	13:00～16:00	①抹茶を飲んでみよう！ ②みんな集まれ！お話し会 ③身近なものでマジシャンになろう！ ④やってみよう！バルーン・アート ⑤もの作り体験 ⑥お花をいけてみよう！ ⑦わくわく！子ども広場 ⑧君だけのストラップ	体験 <small>読み聞かせ</small> 体験 工作 工作 体験 体験 工作			中止	茶友会 庄和おはなしボランティア 文教大学人間科学部学生有志 庄和チャレンジ隊 ほっこり虹の会 池坊・むさし支部菊池社 中withピアニスターズ 年少リーダー 庄和南公民館職員
0回	0時間			0	0	0	
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・賑わいを創造するため、複数の催しを行う ・スタンプラリーを行う(景品 人権啓発品など) ・文教大学人間科学部学生有志およびボランティアと企画運営する ・多くの広報媒体を用いて広く周知する ・中央公民館主催事業の年少リーダー研修会の子ども達に1つのコーナーを企画し、運営してもらう 						
成果 参加者 声など	<ul style="list-style-type: none"> ・運営ボランティア募集により、団体 5団体・個人 1名のボランティアの協力を得られた ・社会教育実習として、文教大学人間科学部学生が1つのコーナーを企画したり、運営側として会議に出席したりして、積極的に企画・準備・運営に携わった ・ボランティア募集により多くのコーナーを企画することが出来た ・2回の調整会議をとおして、コーナーを企画し1つの部屋を運営していくことで協力団体との協働意識が生まれた 						
課題と展望	来年度も協力団体との協働を意識づけられるように会議等で意思疎通を図っていきたい。また、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年度は中止としたが、来年度も引き続き実施にむけて計画していく。						

庄和地区 9

事業名 テーマ	しょうわ塾「秋のコンサート」		対象	一般	定員	180人		
ねらい	生涯学習市民推進員との共催で実施する。地域における生涯学習の推進を図るために、地域住民に多様な学習機会を提供するとともに新たな事業内容や学習方法などを開発する。							
協力機関 及び団体	生涯学習市民推進員		特色 位置づけ	成人の学習機会 の充実	SDGs の目 標No	4.11.17		
会場	庄和市民センター正風館 大ホール		教材 資料等	プログラム				
実施ま での経 過	7月8日	生涯学習市民推進員と 打ち合わせ 講師依頼 公民館だより10月号掲載 整理券配布 舞台打合せ リハーサル 実施	PR方法	公民館だより10月号 ポスター・チラシ配架など				
	8月30日			受付方法	10月8日(木)9時から正風館窓口にて整理券配布 当日自由席			
10月1日	方法		講師・助言者の職 名 氏 名					
10月8日						参加者		
10月11日						男	女	合計
11月28日						計	計	
11月29日						回数		総時間数
11月29日(日)	13:30~15:15	ヴァイオリン、ヴィオラ、ピアノ、エレクトーンの演奏	演奏	38	118	156	ピアノスターズ ヴィオラ・フレッシュサウンド 曾我部陽子 和田絵美里	
1回		1時間45分		38	118	156		
企画運営上 の工夫	生涯学習市民推進員と共催で事業を実施した。 新型コロナウイルス感染防止策(検温、来場者及び出演者のマスク着用、一定の距離を保つ、定員制限、定期的な換気、プログラムの検討、参加者の氏名・連絡先の把握等)を実施した。 企画時には、公民館での吹く楽器の演奏が制限されていたため、ヴァイオリン、ヴィオラ、ピアノ、エレクトーンの演奏会とした。							
成 果 参 加 者 の 声 な ど	入場から退場まで混乱はなく、スムーズに実施することができた。 聴いていて楽しい、静かに見て楽しい、雰囲気を変えて色んな楽しさがあり良かったです。 コロナ拡大の中での開催にこぎつけるまでの大変さを聞き感謝しかありません。 コロナ渦で毎日もんもんとした日々の中で僅かな生きがいを感じた。 クラシックコンサートを久し振りに聞くことができ、とても幸せな時間が過ごせた様な気が致します。							
課題と展望	音響のボリュームが大きすぎるとの意見があった。 今回のようなコンサートをまた実施してほしいとの声があったため、来年度の企画も検討していきたい。							



事業名 テーマ	学校開放講座		対象	一般		定員	15人	
ねらい	庄和北部地域での活動の場として、場所の提供を受け、地域住民との交流等を図る。							
協力機関 及び団体	春日部市華道連盟庄和 江戸川小中学校		特色 位置づけ	庄和地区公民館 主催事業		SDGs の目 標No	4.17	
会場	江戸川小中学校 ランチルーム		教材 資料等	講師持参				
実施ま での経 過	11月19日	講師と打合せ	PR方法	公民館だより2月号掲載 ポスター掲示及びチラシ配布 公民館ブログ				
	12月4日	講師と打合せ						
	12月22日	学校と打合せ	受付方法	2月10日から、直接、正風館にて申 込受付				
	2月1日	2月号公民館だより掲載 ポスター・チラシ配架						
	2月8日	中止決定						
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
				男 計	女 計	合計		
回数	総時間数							
3月14日(日)	10:00~12:00	おうちに飾ろう！いけ花 アレンジメント講座	実技			中止	春日部市華道連盟庄和	
0回	0時間							
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・おうち時間が増えた方に、人とのふれあいの大切さと作品を作る楽しさを感じてもらい、おうちに帰った後も作品を飾っていただけないいけ花アレンジメントの制作体験をしてもらう。 ・子どもから大人まで幅広い年代の方が参加できる内容とする。 ・地域住民に学習機会の場を提供すると共に、参加者同士の交流を図る。 ・庄和地区内の公共施設、駅にポスターの掲示、チラシの配架を行う。 							
成 果 参加者 の声 等	講座の広報及び申込受付期間が新型コロナウイルス感染拡大と重なり、判断に苦慮したが、講師との話し合いのうえ事業を中止した。							
課題と展望	今後も、地域住民のニーズに寄り添った講座を企画し、会場となる施設や関係機関との調整を図っていきたい。							

庄和地区 11

事業名 テーマ	サークル体験月間		対象	一般	定員	定めず	
ねらい	庄和地区公民館（正風館）、庄和南公民館の各サークル団体等の活動の充実と利用促進を図るため、会員増加につながるサークル等への体験や見学を実施する。						
協力機関 及び団体	各参加サークル		特色 位置づけ	サークルとの 連携	SDGs の目 標No	3.4	
会場	庄和地区公民館（正風館） 庄和南公民館		教材 資料等	教材等は各サークルで準備			
実施ま での経 過	12月1日（火）参加案内ポスター・チラシの配架・窓口にて各サークルへ案内開始・公民館だより12月号参加募集掲載 12月1日（火）～25日（金）サークル参加申込み期間		PR方法	公民館だより12・2月号ポスター・チラシ			
	2月1日（月）公民館だより2月号掲載 2月10日（水）～3月9日（火）サークル体験実施		受付方法	申込制、事前に各サークルの代表者へ連絡			
月日（曜）	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職 名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
2月10日（水） ～3月9日（火）		各サークル活動の体験	体験	4	21	25	各参加サークル
1回				4	21	25	
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館利用サークルから「会員数が減少している」「新規会員を増やしたい」との声がある。一方、窓口相談に来る市民からは「公民館にどんなサークルがあるのか知りたい」「活動を気軽に見てみたい」との声がある。公民館がサークルへ声をかけ、見学の場を設けることで両者の連携を図るきっかけ作りとする。 ・今年度は新型コロナウイルス感染防止対策として、部屋の定員削減と来場者の把握が必要になるため、事前に体験希望者と各参加サークルで直接連絡を取り合い、日程調整と体験希望者の把握を行う。 ・当日の運営等については、各参加サークルが行う。 						
成果 参加者 の声など	サークルからは「1人加入者がいてとても助かりました」や「太鼓のバチ・イスなど体験者に貸与する物品の消毒、指導手順、密を避ける方法など、配慮に大変でした」などの声が聞かれ、新型コロナウイルス対策を講じて実施した結果、サークルの加入に繋がった。						
課題と展望	開催日が緊急事態宣言の延長と重なってしまったこともあり、前年と比べると体験者が少なかった。次年度は、感染状況等を注視しつつ計画していきたい。						


事業名 テーマ	利用者のつどい		対象	公民館利用者	定員	定めず	
ねらい	公民館の役割や規則を理解して頂き、有意義で円滑な公民館の利用方法を浸透させる。また、利用者との意見交換が出来る場を提供し、利用者同士の交流を図る。						
協力機関 及び団体		特色 位置づけ	市民の声を生かす 仕組みづくり	SDGs の目標No	4.11		
会場	庄和市民センター正風館(大ホール)		教材 資料等	会議資料			
実施までの経過	12月1日 公民館だより12月号掲載 12月9日～ポスター掲示 利用団体へチラシ配布		PR方法	公民館だより12月号 ポスター掲示 利用団体へチラシを配布			
	12月9日～参加団体募集開始 1月8日 中止の決定		受付方法	12月9日(水)から令和3年1月13日(水)までに窓口または電話で受付			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男	女	合計	
回数	総時間数			計	計	計	
1月20日(水)	10:00～11:30	<ul style="list-style-type: none"> ・人権研修会 ・公民館の利用について ・公民館利用団体票について ・公民館へのご意見・ご要望について ・意見交換 	鑑賞 説明 説明 説明 意見交換			中止	公民館職員 公民館職員 公民館職員 公民館職員・参加者
0回	0時間			0	0	0	
企画運営上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策のため、参加団体を申込み制にする ・窓口で公民館利用団体へ「春日部市公民館における新型コロナウイルス感染防止ガイドラインガイドライン」を渡し、口頭で説明した ・ポスター掲示や日々の利用団体へチラシを配布し、これから利用する方や利用団体へ開催の広報に努める ・人権研修会も同時に開催する 						
成果参加者の声など	<ul style="list-style-type: none"> ・申込み制にしたところ15団体からの申し込みがあった ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした 						
課題と展望	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度は中止となってしまったが、今後も利用者と公民館側との意見交換が出来る場として提供していきたい。						

庄和地区 13

事業名 テーマ	人権研修会		対象	公民館利用者	定員	定めず	
ねらい	人権問題について学習し、正しい理解と認識を深めることを目的とする。						
協力機関 及び団体		特色 位置づけ	学習課題に対応 した事業の展開 (人権)	SDGs の目 標No	4.5.10.16		
会場	庄和市民センター正風館(大ホール)		教材 資料等	人権啓発DVD「知りたいあなたのこと外見からはわからない障害・病気を抱える人」			
実施までの経過	12月1日 公民館だより12月号掲載 12月9日～ポスター掲示 利用団体へチラシ配布		PR方法	公民館だより12月号 ポスター掲示 利用団体へチラシを配布			
	12月9日～参加団体募集開始 1月8日 中止の決定		受付方法	12月9日(水)から令和3年1月13日(水)までに窓口または電話で受付			
月日(曜)	時間	内容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏名
				男 計	女 計	合計	
回数	総時間数						
1月20日(水)	10:00～10:30	人権について研修	鑑賞			中止	公民館職員
0回	0時間			0	0	0	
企画運営上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策のため、参加団体を申込み制にする 人権啓発DVDを上映し、人権についての理解を深める ポスター掲示や日々の利用団体へチラシを配布し、これから利用する方や利用団体へ開催の広報に努める 参加者には人権啓発品を配布する 利用者のつどいと同時に開催する 						
成果参加者の声など	<ul style="list-style-type: none"> 申込み制にしたところ15団体からの申し込みがあった 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした 						
課題と展望	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度は中止となってしまったが、今後も人権についての正しい知識を学び、身近な問題であることを理解してもらうことで、さらなる啓発に努めたい。						

事業名 テーマ	春日部市文化連合会庄和 文化祭		対象	一般		定員	定めず	
ねらい	庄和地区で活動している春日部市文化連合会庄和会員の日頃の活動の成果を発表し、文化・芸術の向上を目指すとともに、参加団体相互の情報交換及び交流を図る。							
協力機関 及び団体	春日部市文化連合会庄和		特色 位置づけ			SDGs の目 標No	4.11.17	
会場	庄和市民センター正風館 全館		教材 資料等	プログラム 参加サークルの作品				
実施ま での経 過	6月26日 8月	中止の決定 中止の周知	PR方法	公民館だより8月号、市ホームページにて中止の周知				
				受付 方法				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職 名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
10月31日(土)	10:15~16:30	開会式 舞台発表 作品の展示・実技コーナー チャリティーバザー	鑑賞 ・ 観覧 ・ 体験			中止	春日部市文化連合会 庄和	
11月1日(日)	10:15~16:00	舞台発表 作品の展示・実技コーナー チャリティーバザー 閉会式						
0回	0時間							
企画運営上 の工夫	お楽しみコーナーとして、チャリティーバザー、実技コーナー、お楽しみ抽選会などを行う予定であった。							
成 果 参加者 の声 等	新型コロナウイルス感染防止の観点から、多くの方の来場が見込まれる文化祭において、十分な感染予防対策を講じながら開催することは困難であるため中止とした。							
課題と展望	来年度へ向けて、地域の方に安心安全に楽しんで頂けるような企画・運営を検討していきたい。							

庄和地区 15

事業名 テーマ	健康講座「導引養生功(気功)で体を動かそう!～初心者編～」		対 象	一般	定員	各回20名	
ねらい	地域住民の健康に関する学習要求に対応して、健康の維持管理に役立つ知識や方法を習得する。						
協力機関 及び団体		特 色 位置づけ	学習課題に 対応した事業	SDGs の目 標No	3.4		
会 場	正風館 講義室(1)(2)		教 材 資 料 等	レジュメ			
実施ま での経 過	8月 10月1日 10月上旬 10月10日	打合せ 公民館だより10月号掲載 ポスター・チラシ配架 受付開始	PR方法	公民館だより10月号 ポスター、チラシ配架 安心安全メール配信			
			受付方法	10月10日(土)から窓口または 電話で受け付け(各回先着20名、 複数回申込み可)			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男 計	女 計	合計	
回 数	総時間数						
11月11日(水)	13:30～15:30	「導引養生功(気功)で 体を動かそう!～初心 者編～」	講義・実習	1	18	19	埼玉導引養生功協会会長 神田 廣美氏
11月18日(水)	13:30～15:30		講義・実習	2	12	14	
11月25日(水)	13:30～15:30		講義・実習	0	15	15	
							
3回	6時間			3	45	48	
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・導引養生功を学ぶ内容の連続講座とする。 ・運動し易い会場で各回実習を行う。 ・かすかべ健康マイレージの対象事業にすることで、健康への意識を高める。 						
成 果 参加者の 声 など	<p>新型コロナウイルス感染症対策をしながらの実施となったが、募集の段階で多くの応募があり、地域住民の健康に対する関心は高いことが伺える。また、かすかべ健康マイレージのスタンプを押した人数は2名だった。「わかりやすく、体にとっても良いと思いました。」「自分の健康は自分で守るしかない。」「楽しいひと時を過ごせました。皆さんの熱意を感じました。」などの感想が寄せられた。</p>						
課題と展望	<p>今年度は複数回受講可能にしたことで、反復する機会が出来た。来年度も複数回受講可能にすることが望ましい。また、講座の時間が長いという意見もいただいたので、時間については次回以降考えていく。来年度も、健康維持に役立つ知識や方法を習得する体験ができるような健康講座を行っていきたい。</p>						

事業名 テーマ	ステップアップギャラリー	対象	一般	定員	72点		
ねらい	階段ギャラリーを活用し、公民館利用団体の学習成果を発表する場を提供する。						
協力機関 及び団体		特色 位置づけ	学習成果の発表	SDGs の目 標No	4.11		
会場	庄和市民センター正風館 階段ギャラリー	教材 資料等					
実施ま での経 過	R元年12月	公民館だよりにて次年度展示 希望者を募集	PR方法	庄和地区公民館だより掲載			
	R2年4月1日 6月1日 8月1日 10月1日 12月1日 R3年2月1日	公民館だより掲載	受付方法	窓口			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男 計	女 計	合計	
回 数	総時間数						
4月	1ヶ月間	絵手紙	展示			6	大凧絵手紙の会
5月	〃	絵手紙				6	大凧絵手紙の会
6月	〃	水墨画				6	精墨会
7月	〃	押し花				6	さくら草
8月	〃	水引工芸				6	さすいクラブ
9月	〃	水墨画				6	精墨会
10月	〃	パッチワーク				6	ファミリーキルト
11月	〃	押し花				6	アトリエフェアリー
12月	〃	木彫り				6	庄和第二木彫
1月	〃	油彩画				6	彩風会
2月	〃	俳句				6	彩風会
3月	〃	水墨画				6	精墨会
12回	12ヶ月			0	0	72	
企画運営上 の工夫	公民館だよりやポスター・チラシにて展示希望団体を募集する。 利用者に申込を促す呼びかけを積極的に行う。 作品名・作者名のプレートを取り付ける。 作品に照明をあてて見えやすくする。 絵画、手工芸、絵手紙など様々な種類の展示を行う。						
成 果 参加者 の声 等	階段で足を止めて作品を鑑賞する利用者の姿が多く見受けられた。 作品について話し合い、利用者間の交流のきっかけとなっていた。						
課題と展望	新型コロナウイルス感染拡大により、団体活動が出来ないため、展示を辞退する団体もあつた。来年度は、公民館利用団体の学習成果発表に加え、公民館をより知っていただくために公民館事業の紹介等を実施する。						



事業名	公民館だより「しょうわ」発行		対象	庄和地区内		定員	
ねらい	公民館事業のPRや報告、地区内社会教育団体の活動PR及び地域情報を庄和地区内の住民に提供する。						
協力機関及び団体		特色 位置づけ				SDGs の目標No	4.11
会場		教材 資料等					
実施までの経過	2ヶ月前～ 1ヶ月前～ 前月下旬 隔月1日 (偶数月)	原稿調整 作成・編集 校正・印刷 発行	PR方法	掲載を希望する団体は、公民館だより掲載依頼書を前月1日までに提出。			
	回数	総時間数	受付方法				
月日(曜)	時間	内容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏名
				男 計	女 計	合計	
隔月1日		発行(公民館事業の広報) 庄和地区内約13,500部配布					
6回							
企画運営上の工夫	事業名称などのタイトルを大きく赤字で掲載し、表記の仕方を統一して見やすいレイアウトとした。						
成果参加者の声など	事業参加者へのアンケートから、公民館だよりを見て申し込みや来館される方が多く、地域住民の情報収集の手段となっているようである。						
課題と展望	公民館からの情報提供だけでなく、利用者からの情報を取り上げて掲載するなど内容を充実させていきたい。 視覚的にわかりやすく、興味を持ってもらえるような紙面としたい。						



事業名 テーマ	庄和地区芸能大会ふれあいステージ		対象	概ね 高齢者		定員	定めず	
ねらい	芸能を通じて、会員及び一般市民の福祉の増進を図る。							
協力機関 及び団体	庄和地区いきいきクラブ連合会		特色 位置づけ	高齢者福祉事業		SDGs の目 標No	3.4.11.17	
会場	庄和市民センター正風館 大ホール		教材 資料等	プログラム				
実施ま での経過	7月 10月1日 10月1日～ 11月30日 11月27日	打合せ、共催承認 公民館だより10月号掲載 参加団体募集 中止の決定	PR方法	公民館だより10月号 ポスター掲示・チラシ配布				
			受付 方法	11月30日(月)までに電話にて庄和 地区いきいきクラブ連合会へ申込み				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職 名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
2月18日(木)	10:00～14:30	開会式 各クラブの発表 一般参加団体の発表 閉会式	発表 鑑賞	中止			庄和地区いきいきク ラブ連合会	
0回	0時間							
企画運営上 の工夫	高齢者の福祉増進を図るため、日頃の活動の成果を発表し、会員同士の交流と親睦 の機会とする。 一般市民にも広く参加を呼びかけ、地域住民との交流を図る。							
成 果 参加者 の声 など	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら開催することが困難であるため中止とし た。							
課題と展望	庄和地区いきいきクラブ連合会と連携を図りながら、引き続き、地域の方に安心安全に 楽しんで頂けるような企画・運営を検討していきたい。							

事業名 テーマ	☆みなみ手作り講座☆ 印伝調折りさいふ作りに挑戦！		対象	成人一般	定員	20名	
ねらい	ものづくりを通じ、伝統文化への関心を深め、学ぶ楽しさを味わい仲間作りに繋げる。						
協力機関 及び団体		特色 位置づけ		SDGs の目 標No	4.11		
会場	庄和南公民館 2階学習室1・2		教材 資料等				
実施ま での経 過	2月初旬～	講師に協力依頼、打ち合 わせ	PR方法	公民館だより4月号に掲載 館内にポスター・チラシで告知・公 民館ブログに掲載 春日部安心安全メールで配信 4月4日に講師と協議の結果、中止 決定 公民館だより4月号掲載以外のPR は中止			
	4月初旬～	公民館だより4月号予告掲 載					
	4月4日	新型コロナウイルス感染拡 大防止のため中止	受付方法	4/10(金)より庄和南公民館窓口に て材料費800円を添えて申し込み 先着20名で締め切り 受付開始前の4/4(土)、中止決定 により受付を中止			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職 名 氏 名
				男 計	女 計	合計	
回数	総時間数	中止	製作				榎本良子他 幸松 婦人会手工芸委員
6月2日(火)				0	0	0	
0回	0時間			0	0	0	
企画運営上 の工夫	日頃利用している年齢層の方が興味を持てるような企画にした。見た目にも美しい印伝調の折り財布を作るという作業を通じて参加者同士の交流が増え、学ぶ楽しさを実感してもらうことをねらいに企画した。						
成 果 参加者 の声 等	今回は、新型コロナウイルスの感染拡大防止により講師、参加者等の安全を考慮して中止とした。						
課題と展望	企画は、大変興味深いものと思われるので、より良い事業として時期を見極めて実施し成功させたい。						

事業名 テーマ	①大人のやさしいヨガ&ストレッチ ②大人のやさしいヨガ&ストレッチ第二弾		対 象	成人女性	定員	15名		
ね ら い	①地域住民に気軽に参加してもらい、社会的距離を確保しつつ、参加者同士のコミュニケーションを取りながら、健康の維持を目指す機会を作る。 ②新型コロナウイルス感染予防対策を行い、サークル活動発足の機会を作る。							
協力機関 及び団体		特 色 位置づけ		SDGs の目 標No	3.4			
会 場	庄和南公民館 多目的ホール		教 材 資 料 等					
実施ま での経 過	①4月下旬 8月上旬	講師に依頼打診 ポスター掲示、チラシ配 布 公民館だより8月号掲載	PR方法	公民館だより 館内にポスター・チラシで告知 公民館ブログに掲載 春日部安全安心メールで配信				
	8月11日 ②8月中旬 10月上旬 10月8日	告知メール配信 受付開始 講師に依頼打診 ポスター掲示、チラシ配 布 公民館だより10月号掲載	受付方法	①8月11日(火)9時より受付 定員になり次第終了 ②10月8日(木)9時より庄和南公民 館へ直接または電話で申し込む 定員になり次第終了				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者		講師・助言者の職名 氏 名		
回 数	総時間数			男 計	女 計		合計	
9月7日(月)	10:00 ~11:30	大人のやさしいヨガ& ストレッチ	体験	0	20	20	JAHA認定インストラ クター	
11月2日(月)	10:00 ~11:30	大人のやさしいヨガ& ストレッチ 第二弾	体験	0	20	20	鈴木 さくら	
								
2回	3時間00分			0	40	40		
企画運営上 の工夫	地元の講師に依頼し、日ごろ利用している年齢層の方が興味を持てるような企画にした。社会的距離を確保しながら、参加者同士の交流と体を動かす楽しさを実感してもらいたい。また、講師に依頼する事で当日のサポート体制も整えた。告知は「公民館だより」「公民館ブログ」「館内ポスター掲示・チラシ配布」「案内メール配信」を行い幅広く周知できるようにした。							
成 果 参加者 の声 など	①募集定員は15名でしたが、要望も多かったことから感染予防対策が十分図れることを確認し、5名増員の20名まで広げての開催となった。参加者同士が社会的距離を保つよう、あらかじめ、ヨガマットを敷く位置を2m以上離れるよう床に目印を付けた。全員がマスクを着用し、新型コロナウイルス感染予防対策を行い実施した。「心身のリラックスができた」、「気分がスッキリした」、「人数もちょうど良かった」等のお声をいただき、ゆったりとした内容で、コロナの不安を少しの時間忘れリラックスできたのではないかと思います。							
課題と展望	①参加者同士の社会的距離を多めにとったため、端の方までヨガマットを敷いた結果、講師が移動しづらくなったことが課題となった。おおむね参加者の満足を得られたので次年度からも「ヨガ&ストレッチ」は続けていきたい。 ②ピンマイクの固定が難しく、講師の声が聞こえづらいという声があり、課題となった。おおむね参加者の満足を得られ、更に「大満足」と付け加えた方もいたので、今後は定期的な健康講座として定着させていきたい。							

事業名 テーマ	親子の手作り教室 「初心者あつまれ！一緒にジャムを作りましょう」		対象	小学生と その保護者		定員	5組	
ねらい	初心者対象のジャム作りに興味を持った親子が、自主的に行動し、時間を共有することでより良い関係を築き、趣味の幅を広げることを目的とする。また、公民館を利用するきっかけを提供する。							
協力機関 及び団体	市内在住者(ゆず提供)		特色 位置づけ	地元産の果実を 使って親子で調理 を楽しむ		SDGs の目 標No	4.11	
会場	庄和南公民館 調理室		教材 資料等	素材、レシピ				
実施ま での経過	12月10日	職員によるリハーサル	PR方法	館内にポスター・チラシで告知・公民館 ブログに掲載 春日部安心安全メールで配信 1月7日に協力者と協議の結果、中止決 定 安心安全メール配信中止				
	12月18日	日程・内容打ち合わせ						
	12月18日	ポスター掲示、チラシ配布	受付方法	1/6(水)より庄和南公民館窓口にて材 料費300円を添えて申し込み 先着5組で締め切り 受付開始翌日の1/7(木)、中止決定に より受付を中止				
	1月6日～	参加者募集開始						
	1月7日	新型コロナ感染拡大により 中止を決定						
	1月31日	開催予定日						
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
				男	女	合計		
回数	総時間数			計	計	合計		
1月31日(日)		中止	実習					
0回	0時間			0	0	0		
企画運営上 の工夫	新型コロナウイルスの感染拡大に最善の注意を払い、テーブルには親子1組のみ、すべての道具を事前に消毒し、安心安全に参加してもらえよう対策を図る。コロナ禍で、思うように活動が出来ない中でも、親子で安全に楽しめるイベントを少人数で出来るよう職員が中心になって行う。							
成 果 参加者 の声 など	今回は、新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言発出期間中の開催日であり、不要不急の外出を控えることや参加者等の安全に配慮すること等から、主催事業は中止となった。							
課題と展望	親子での参加という企画は、大変興味深いものと思われるので、来年度、ゆずの収穫の時期を見極めて実施し、学びの場、集いの場として事業を成功させたい。							

事業名 テーマ	展示イベント	対象	庄和南公民館 来館者	定員	定めず		
ねらい	公民館ロビーを様々な情報発信、イベントの場として活用する。						
協力機関 及び団体		特色 位置づけ		SDGs の目 標No	4.11		
会場	1階ロビー	教材 資料等					
実施ま での経過	2カ月前 各団体と打ち合せ・展示準備	PR方法	ポスター掲示、チラシ配布				
	1カ月前 ポスター掲示予定 開催日 作品展示を予定するが、ロビー 使用不可により中止	受付方法	七夕の短冊はロビーに置いてお き、各自自由に書いてもらう。 展示は自由観覧				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
5月～3月		ガラスケース内展示中止					
7月		七夕イベント中止					
1月		新春 書道・絵手紙展中止					
				0	0	0	
企画運営上 の工夫	作品を創作、所有していると思われる団体に声がけて展示依頼する。季節感のある 作品を展示して、来館者の目を引きながら、作品発表の場を兼ねて実施する。						
成果 参加者の 声など	今年度は、新型コロナウイルス感染防止対策によるロビー使用が不可のため、中止とし た。						
課題と展望	ロビー使用が可能になれば、マンネリ化にならぬよう展示内容の変化などにより、新た な視点で広く興味をもってもらえる作品展示に努めていきたい。						

武里市民センター

所在地 〒344-0033 春日部市備後西一丁目13番2号
TEL 048-737-3033
FAX 048-737-3033



職員	所長 (兼務)	大山 祐二
	主査 (兼務)	大野 弘久
	主任 (兼務)	島村 武
	主任 (兼務)	山崎 孝一
	主任 (兼務)	松本 直
	主任 (兼務)	山下 剛史 (社会教育主事)
	主任 (兼務)	梅津 裕介
	フルタイム (兼務)	立澤 佳子

庄和市民センター正風館

所在地 〒344-0116 春日部市大倉307番地1
TEL 048-746-6666
FAX 048-746-6669
E-mail seifukan@city.kasukabe.lg.jp



職員	館長 (兼務)	芳池 修
	主査 (兼務)	長谷川 崇
	主任 (兼務)	小堀 昭
	主任 (兼務)	高島 美香 (社会教育主事)
	主事 (兼務)	塚目 龍也
	主事 (兼務)	佐藤 拓実 (危険物取扱者)
	フルタイム (兼務)	落合 珠美
	フルタイム (兼務)	山口 智恵子
	フルタイム (兼務)	前島 浩子